

令和7年度 函館英語英文学会プログラム

日時：令和7年11月1日（土） 13:30-17:00

会場：北海道教育大学函館校 大会議室 （オンライン（Zoom）併用）

共催：日本英文学会北海道支部

後援：北海道教育大学

開会の辞・総会（13:30-13:45）

研究発表 第1部（13:55-14:55）

1. [共同発表] AI時代における英語教育の現状と今後

——能動的学びを促進するために——

佐々木 昌太郎（北海道教育大学函館校）

伊豫部 隼平（北海道教育大学函館校2年）

内山 湊意（北海道教育大学函館校2年）

李 子豪（北海道教育大学函館校2年）

原田 優作（北海道教育大学函館校2年）

高松 愛空（北海道教育大学函館校2年）

山田 壮（北海道教育大学函館校2年）

西塚 大翔（北海道教育大学函館校2年）

2. 英語現在完了構文における用法の境界性の考察

——been to と gone to に着目した解釈決定要因の検討——

鈴木 聖（龍谷大学文学研究科英語英米文学
専攻修士課程1年）

<休 憩>

研究発表 第2部（15:05-16:05）

3. Get文の認知文法的考察 ——「存在・受容・変容」の視点から——

石川 博基（秋田市立御所野学院高等学校）

4. 日英語話者の時の認識の違いと文法カテゴリー

濱田 英人（札幌大学名誉教授）

特別講演（16:05-16:55）

生成AIで読み解く日本人英語話者の発話力：CAF指標とCEFRに基づく分析アプローチ

白田 悦之（函館工業高等専門学校）

閉会の辞（16:55-17:00）

※なお、(株) BooQs による DiQt（AI 辞書＆単語帳）の展示があります。